



ゆりぐみだより

2022年 1月 第5号

あけましておめでとうございます

新年をご家族で迎え、楽しかった事など沢山話を聞かせてくれた子ども達。久しぶりに会う友達と笑顔で元気に遊んでいます。

毎日マラソンやなわとびを行い、時には半袖半ズボンで元気な子ども達。なわとびは、短縄だけでなく長縄も使い、数人で一緒に跳んだり、1人ずつ入ったり、リンボーにも挑戦して遊んでいます。短縄では現在の最高記録は312回。記録がどこまで伸びるか楽しみです。

保育園生活も残り3ヶ月となり、就学に向けての話題が増えてきています。就学に向けて取り組んでいく事もありますが、今しか出来ない様々な遊びの経験、クラスの友達との思い出作りなどを思い切り楽しんでいけるような保育を行っていききたいと思います。



消防署見学



楽しみにしていた消防署見学。1度目は雨で延期になり、2度目も雨でしたが無事に行ってくることが出来ました。消防署の中を案内してもらい、ベッドを見つけて「泊まりたい」と興味津々。筋トレルームで色々触れさせてもらったり、消防車、救急車に乗せてもらったり、沢山の話を聞いてきました。東北大震災の津波のパネルを見ながら「これは何？」と真剣に見る姿もあり、子ども達なりに衝撃を受けたようです。ちょうど救急車の緊急出動も見る事が出来、貴重な経験になりました。消防士さんに抱っこしてもらったり、遊んでもらったりと、とても楽しかったようです。



楽しかったクリスマス会



「保育園生活最後」の様々な行事の中で、クリスマス会も皆で相談しながら楽しく行う事ができました。歌を決める時には「にじ」と言う声が多くありました。昨年度からのお気に入り、練習の中で子ども達の歌に感動し、特に後半は声も大きくなり、しっかり盛り上げていく所に涙が出る事もありました。そんな話を子ども達としていると、「お父さん、お母さんも泣いてくれるかな」と気持ちを込めて歌っていました。遊戯では何曲かの候補曲の中から、それぞれがやってみたい遊戯を選びました。踊るのが楽しいようで、練習になると「やったー」と大喜び。初めて挑戦する劇では、まずは役を決める所から始まり、ひとつの役に希望が集まってしまう事もありましたが、「誰もいないから僕がやる」と言ってくれる子もいて、「僕も」「私も」と譲り合いながら決めていきました。それぞれに台詞を書いた紙を配り、練習開始。台詞を言いながら恥ずかしくて顔を隠してしまうこともありましたが、慣れてくると少しずつ動きを付けて、歌も振り付けを役ごとに考えながら作り、家族ぐるみで考えてくれた子もいました。遊びの中ではふざけ合って面白い事を考え、アイデア豊富の子ども達ですが、舞台の上では恥ずかしくなってしまうようです。劇で使う背景の海は子ども達が手形で作ったり、竜宮城を描いたり、お面を作ったりと皆で一緒に作って行きました。

クリスマス会当日、ゆりぐみの発表の時間だけ雪が降り、子ども達の気持ちも高まっていました。『遊戯は楽しんでもらう』『歌は泣いてもらう』『劇は笑ってもらう』の3つを目標にしていた子ども達。見に来てくれる方々の事までを考えながら、「頑張ろう」と言うよりは「楽しもう」と元気に笑顔で発表する事が出来ました。

クリスマス会が終わってからも、劇の替え歌を作って遊んだり、「もっとやりたい」と言う声も多かったので、12月の誕生会では『シャッフルクリスマス会』を行いました。好きな楽器を演奏したり、発表した遊戯や劇の役を変えて楽しみました。

